



卒会生挨拶



小崎 忍

長い間お付き合いくださいました現役の皆さん。JCという組織に放浪していた自分を導いて下さった先輩諸氏。そして、ラストの年を「委員長・委員長」と助けてくれた委員会メンバー、本当にありがとうございました。

みんなきっと色々な思いで、JCライフを送っているのではないのでしょうか。でも、ひとつ言えるのは…「今悩み、考え、行動することは決して自分の人生の上で無駄なことでは無いということ」そして、「JCの仲間は一緒にあって悩み、考えてくれること。」委員会に出席しなかったら悪いメンバーではありません。2次会に来なかったら、仲間はずれでは無いのです。その人は、自分の家族や生業で、もがき苦しんでいるのかも知れません。そんなメンバーに手を差し伸べ、「今日は委員会来んでええよ、今回はオレらでやっつくから。」と言える仲間作りをして下さい。結束力のある組織は人と人と助け合い、強調の和音を奏でるものです。私は、卒会生スピーチで皆さんに投げかけました。「自分の行動こそ、それが正解だと」しかし、皆さん勘違いをしてはなりません。それ故に「自分の行動に責任を持って下さい。自分の行動に自信を持って下さい。」その為にはどうか、正しく見極められる目を養ってください。どうか失敗を恐れしないで下さい。どうか仲間を身を委ねてみてください。そして、許されるのならJCライフを卒会という形で締めくくってください。私は、卒会を迎えて本当に良かったと感じています。やっど、JCを好きだと今言えます。皆さんに感謝しております。ありがとうございました。



植野 暢之

新年明けましておめでとうございます。在籍中、山縣理事長始め皆様には本当にお世話になりました。怖々入会させて頂いた6年前、卒会は遙か遙か先の事とばかり思っておりましたが、先輩方が一人去り二人去り、気付けば自分の番でした。現役の皆さん、30代はアツと言う間です。今のうちに色々なことにどん欲に取り組み、萩JCをもり立てていってください。最後に杉山直前、力不足の副理事を最後まで引き立てていただきありがとうございました。北海道は一生の思い出です。



宮沖 博之

新年明けましておめでとうございます。実は今この原稿を書いているのは12月11日、卒会式の前日であります。そして少しずつではありますが、卒会という言葉の意味や重みを感じ始めております。明日の卒会式では新たにどんな気持ち湧き上がってくるのか？さらには、この原稿がJCニュースとして発行される新年会、その時はOBの席です、未だに信じられません。

私は20歳代の半ばから30歳台の全てを、自分なりのペースではありましたがJCと共に過ごして来ました。

辛い思い出、楽しい思い出、私の胸にはとても数え切れない程の大事な思い出がたくさん詰まっています。約13年と3ヶ月という在籍期間に、同じ場所で同じ目的を持ち同じ空気を吸った仲間・・・

現役そして現OB合わせて約99名の皆様方には本当に心から感謝致しております。

皆様本当にお世話になりました、そしてこれからも宜しくお願い致します。



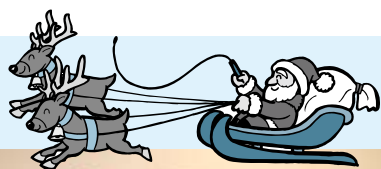
郷田 孝志

あっという間の4年と3ヶ月、今思えばいい思い出となりました。あまり気の進まないまま入会したJCではありますが、色々な事を経験し、また苦手な事に挑戦できたのは、この青年会議所という団体に所属していたからの賜であると感じております。そして、何よりもその活動を共に取り組んでくれたメンバーには、本当に感謝いたします。私にとって真の仲間を築くことが出来たと確信しております。最後に、こんな私を卒会まで導いてくださった会員の皆様、多くの先輩方、本当にありがとうございました。



宅野奈都子

先日の卒会式、忘年会につきまして、たくさん先輩方と現役のみなさんに改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。JCでの6年半は語り尽くせませんが、豊田専務が送辞で話して下さったとおり本当に楽しかった思い出がいっぱいです。大した功績もない私ですが卒会式では推薦者の村本先輩をはじめ多くの先輩方に『ようがんばった！』と言われてうれしかったです。ラストは女性らしくと和服で出席しましたが着物で胴上げされたのにはびっくり！萩JCらしい素敵な卒会式、忘年会でした。



サンタよい子の訪問



クリスマスイブの12月24日に【サンタよい子の訪問】を行いました。自分自身、幼い頃この【サンタの訪問】を受けていたことを思い出しながら訪問させて頂きました。私は郷田さんと3軒のお宅をまわらせていただき子供達の笑顔にとっても癒させていただく事ができました。鳥田君のお宅ではクラッカーの音に愛美ちゃんを泣かせてしまうハプニングを起こしてしまいました。“ごめんね愛美ちゃん”

そんなハプニングも乗り越え家路に着く車のなかで子供達の笑顔を思い浮かべ、自分の幼い頃の記憶とダブらせながら、またその頃から続けられてこられている事業なんだなど、いろいろ考えさせられました。今回【サンタよい子の訪問】を行い、子供達からいっぱい元気をもらうことができた気がします。来年も会員交流委員会の所属が決まっています。来年もクリスマスの夜には子供達に“夢”を配り、子供達から“元気”をもらえるような事業にしたいです。

2007年度会員指導力拡大委員会 委員 横山 武志